(H. Uematsu, Apr. 10, 1953, TI). Pref. Shizuoka; Fujinomiya, Kenashiyama 1600 m (H. Kanai, May 18, 1958, TI), Kami-idemura, Inogashira (H. Kanai, Sept. 27, 1957, TI), Shimobe, Tojirogawa 1300 m (Y. Kadota 1979, no. 4135, TI), Umegashima, Abetōge 1200 m (T. Yamazaki 1979 no. 2460, TI), Umegashima, Jyumaiyama 1200 m (T. Yamazaki, Oct. 12, 1954, TI), Haibaragun, Haibaragawa 500 m (T. Yamazaki, May 5, 1954, TI), Syuchi-gun, Harunochō, Iwatakeyama 650 m (Murata et al., 1972, no. 111, TI), Syuchi-gun, Ketamura, Ishikiri (S. Aoyama, Apr. 1955, TI).

□豊岡東江（画）: **いのちある野の花**（2巻）131+131 pp. 1990. 青菁社, 京都. ¥4,000（各巻）. 豊岡東江は明治29年東京美術学校卒業, 大正10年加賀市山代温泉に没した。目立たない人だったようで, その経歴はよくわかっていない。本書は石川県立工業高校に保存されていた彼の写生帳から, 1巻は春・夏, 2巻は秋・冬と, 植物のスケッチ 362点を日付順に並べたものである。庭や山野の草花, 野菜などで特筆すべきものはないが, 加納派の筆法による写実的な描写である。巻末に広江美之助氏による植物の解説がある。（金井弘夫）

□牧野富太郎: **改訂増補 牧野日本植物図鑑** 1,453 pp. 1989. 北隆館, 東京. ¥20,600. 今回の改訂増補は, 小野幹雄, 大場秀章, 西田誠の監修による。前版より約1,200図ふえ, 5,056図となった。小笠原や沖縄の植物もとりこまれている。配列は前版と異なり, Engler の Syllabus 12版に準拠している。牧野図鑑は多種多様な図鑑類が氾濫している今日でも, なお基本参考図書としての地位を失っていないので, このような増補は望ましい。しかし今回の版ではかなり改善する点が残されているようで, 大村敏朗氏による正誤のリストが別に配付されている。これをなるべく早く取り込んで, 信頼性を一層高めるようにしてもらいたい。（金井弘夫）

□IWRB 日本委員会: **日本湿地目録** 263 pp. 1989. IWRB 日本委員会. ¥3,200（送料 ¥600）. IWRB は国際水禽湿地調査局で, 本書の表題の前に「特に水鳥の生息地として国際的に重要な」とあるように, 日本野鳥の会（〒150 渋谷区渋谷 1-1-4 青山フラワービル）に日本委員会が置かれている。ラサール条約によって水鳥の生息地としての湿地の保護活動が活発になり, その基本資料として本書が作られた。湿地位置図には北海道から沖縄まで, 重要な湿地51と特に重要な湿地24が示されている。特に重要な湿地については, 別に簡単な記述と鳥相, 保護・開発の動向が記されており, 巻末にそれらの空中写真がある。文献リストは湿地の鳥類に関するものである。（金井弘夫）